

2004年度 第1四半期（1Q） 連結決算

2004年7月30日

株式会社 **東芝**

代表執行役専務 笠 貞純

注意事項

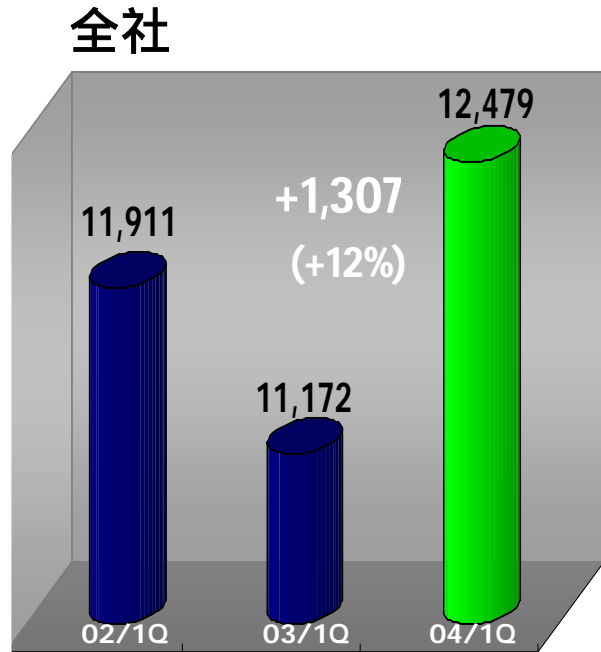
- この資料には、東芝の将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。
- これらの記述は、過去の事実ではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定及び所信にもとづく見込みです。
- また、多様なリスクや不確実性(経済動向、エレクトロニクス業界における激しい競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等がありますが、これに限られません。)を含んでいます。そのため、実際の業績は当社の見込みとは異なる可能性がありますので、ご承知置きください。

概要

単位:億円

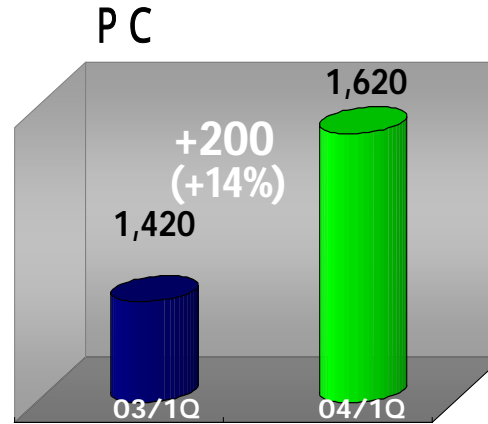
| 摘 要 | 04/1Q | 03/1Q | 前年同期比較 | |
|-------------------|--------|--------|--------|------|
| | | | 前年 | 比 |
| 売上高 | 12,479 | 11,172 | 1,307 | 112% |
| 営業損益 | 141 | -413 | 554 | - |
| 税引前損益 | 3 | -509 | 512 | - |
| 当期純損益 | -78 | -368 | 290 | - |
| 基本的1株当たり 当期純損益 | 2円42銭 | 11円45銭 | 9円03銭 | - |

第1四半期売上高推移

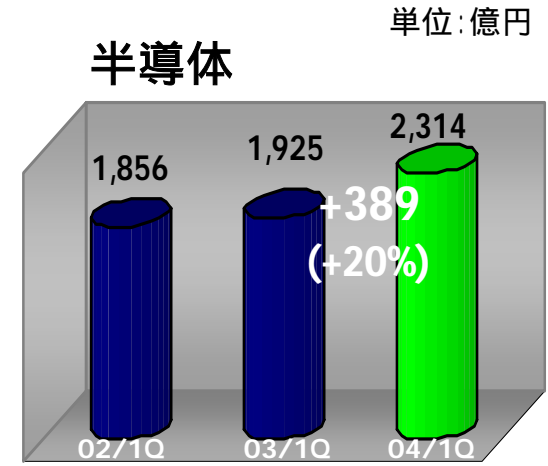


前年同期比12%の増収

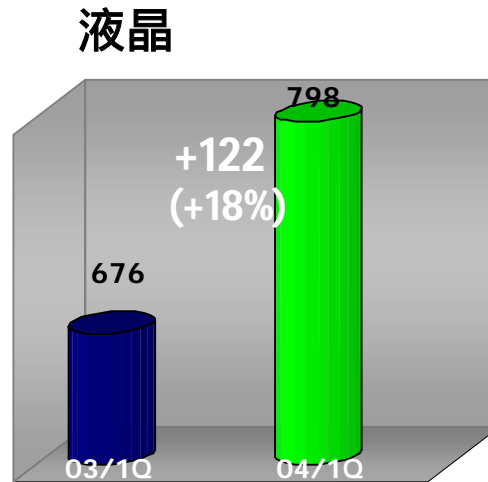
* 電力社会システムの02/10は
組織変更前の数値



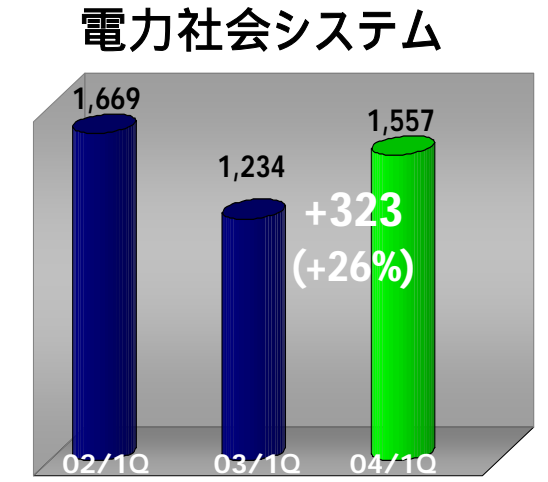
海外向けPCの伸長



デジタル家電向けを中心に増収



高付加価値の中小型ディスプレイが伸長

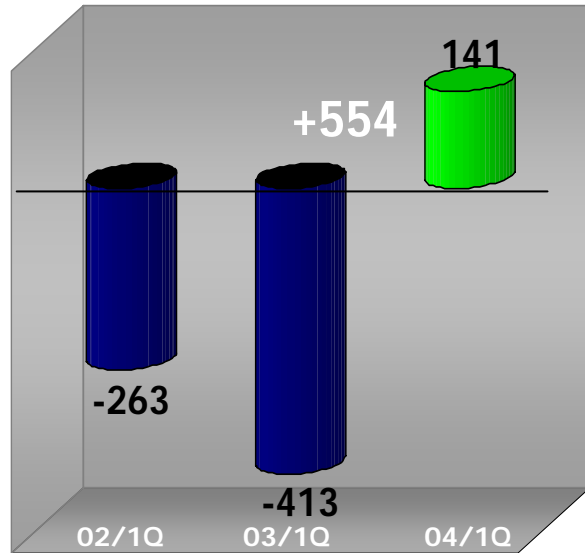


発電プラント保守物件増による増収

第1四半期営業損益推移

単位: 億円

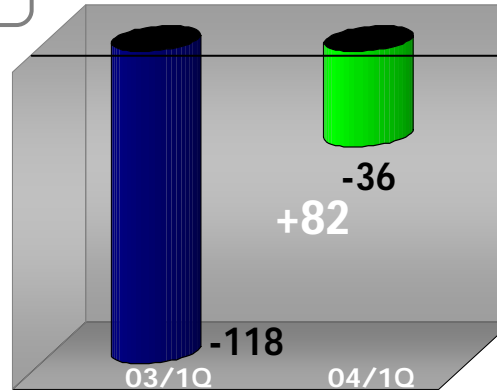
全社



四半期公表以来初の
第1四半期黒字化

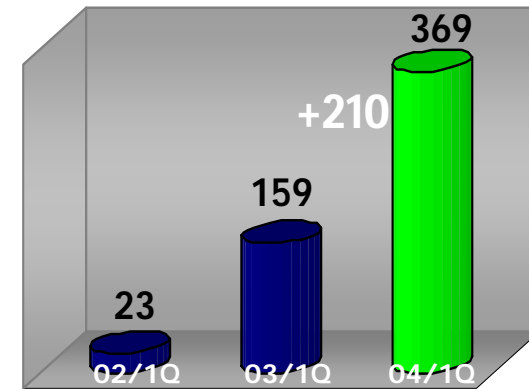
* 電力社会システムの02/10Qは
組織変更前の数値

PC



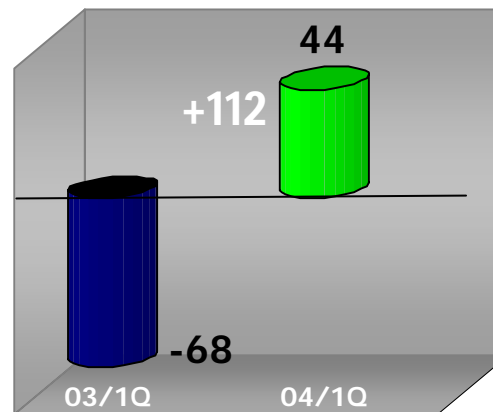
改善施策の着実な効果

半導体



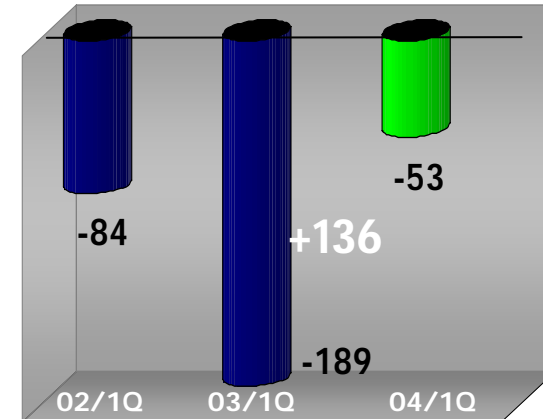
デジタル家電需要の増収効果による増益

液晶



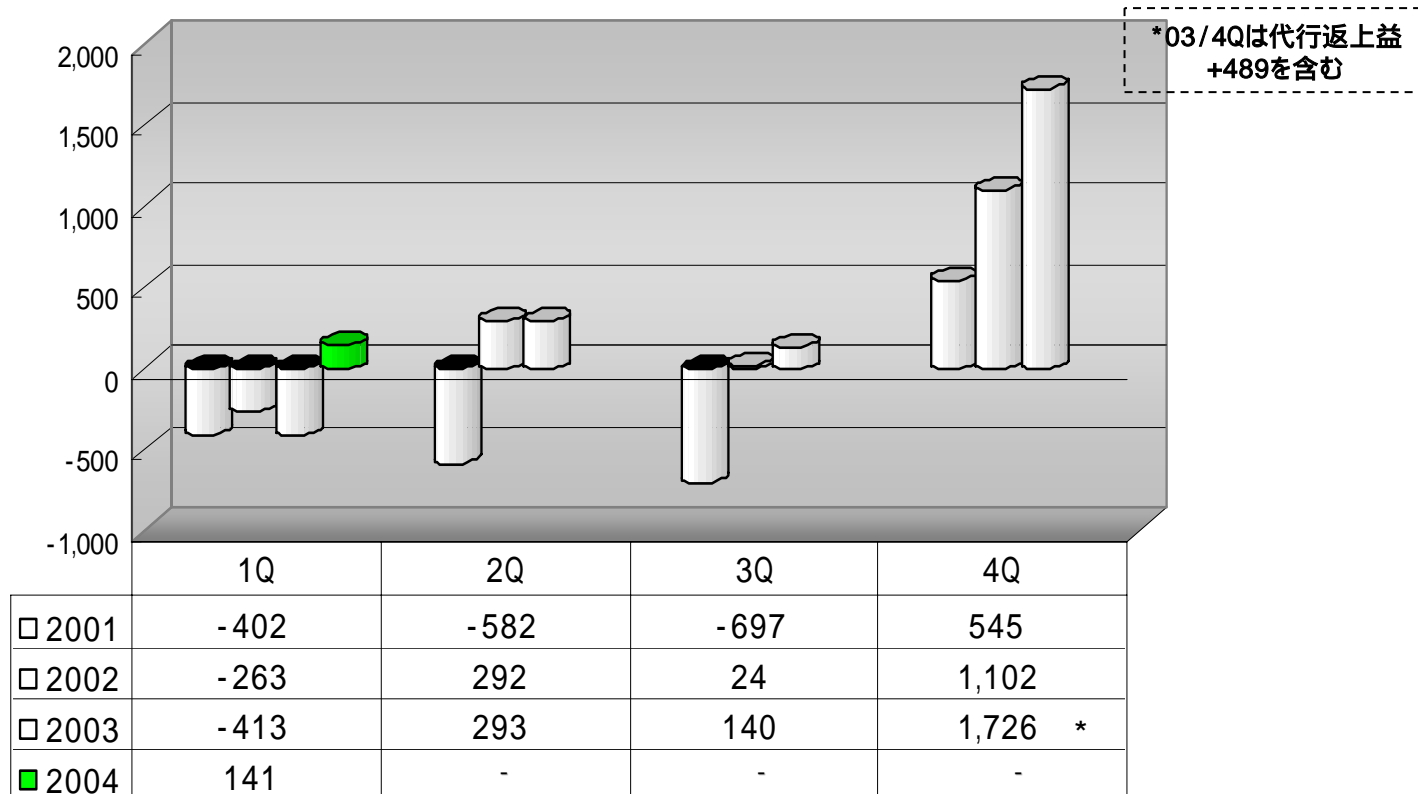
高付加価値品への注力により黒字定着

電力社会システム



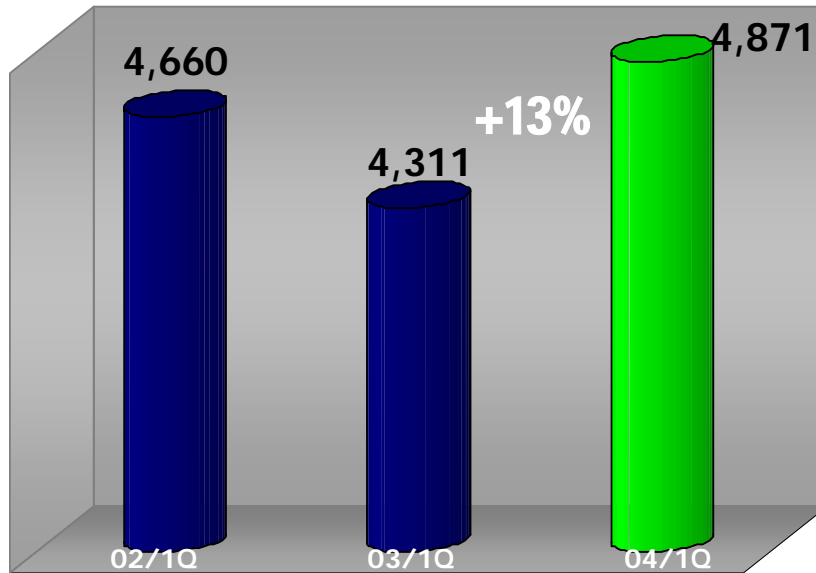
発電プラント保守物件増による損益改善

四半期別営業損益トレンド(合計)

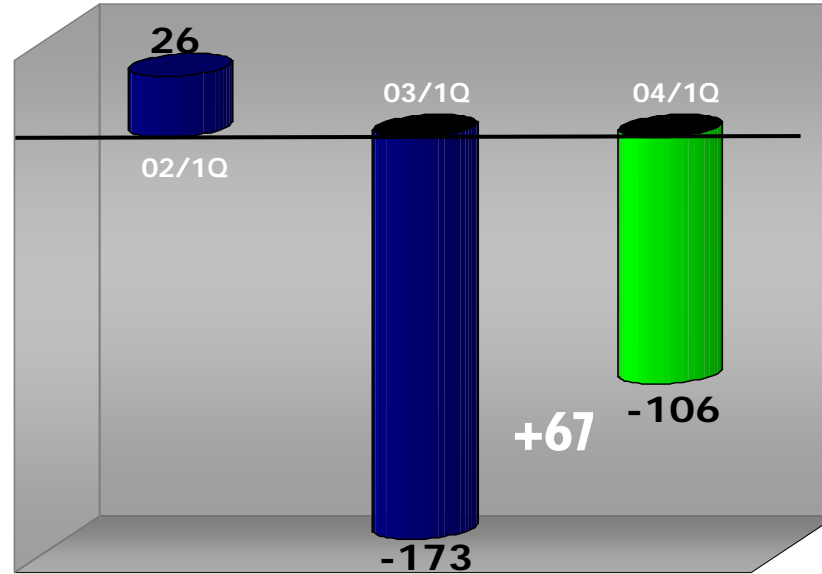


デジタルプロダクツ部門

売上高



営業損益

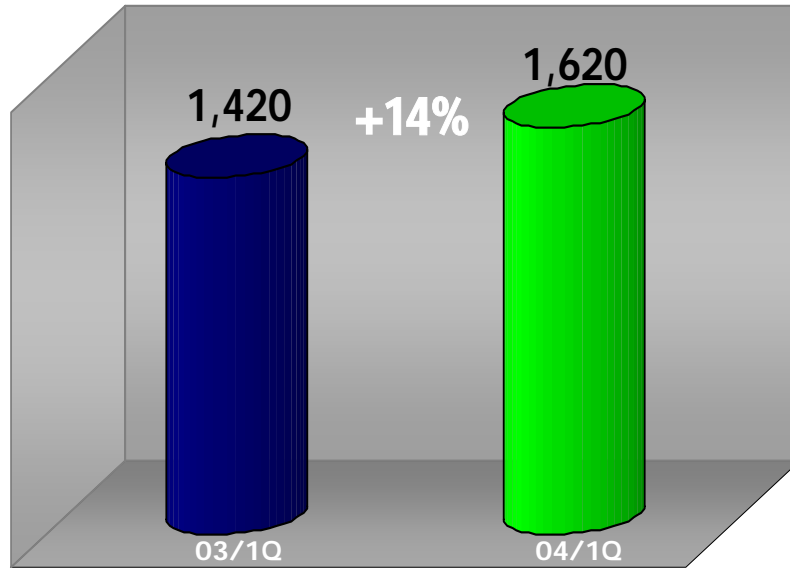


- パソコン事業の伸長による増収
- 光ディスク装置事業におけるサムスン電子との合併会社設立に伴う売上増加

- パソコン事業の改善
- 携帯電話事業の改善
- ストレージ事業の市場価格低下による悪化

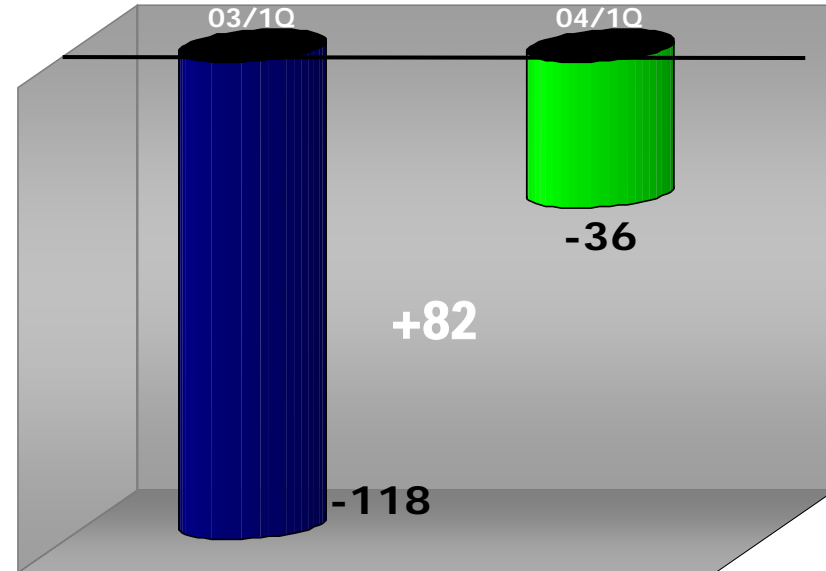
パソコン

売上高



■ 米国・欧州を中心に海外向け
売上げが伸長し、増収

営業損益

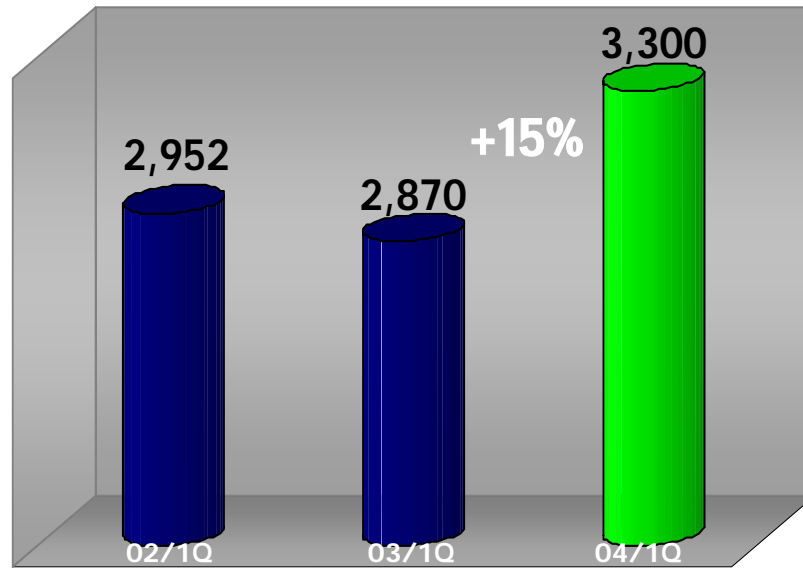


■ パソコン事業改善施策(販売・
開発・生産ロジスティクス・
調達・戦略商品)の着実な
進捗による改善

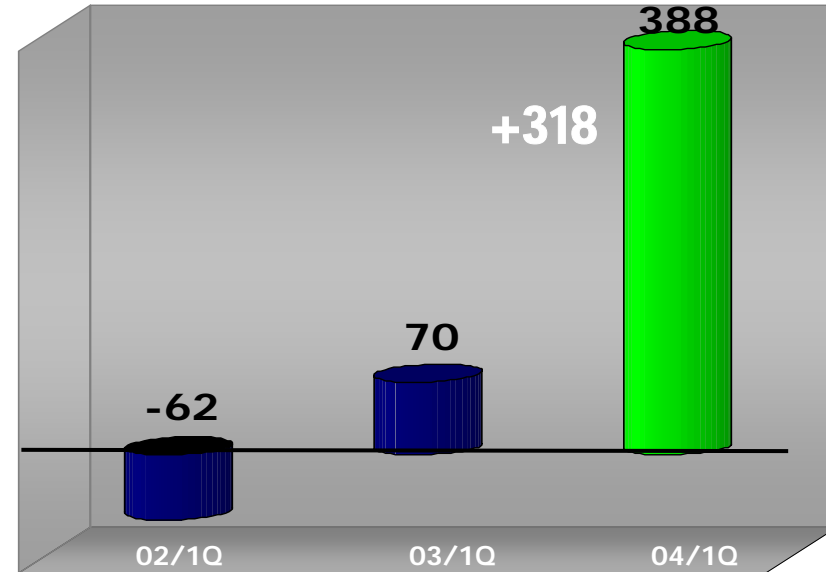
パソコンはデジタルプロダクツ部門内

電子デバイス部門

売上高



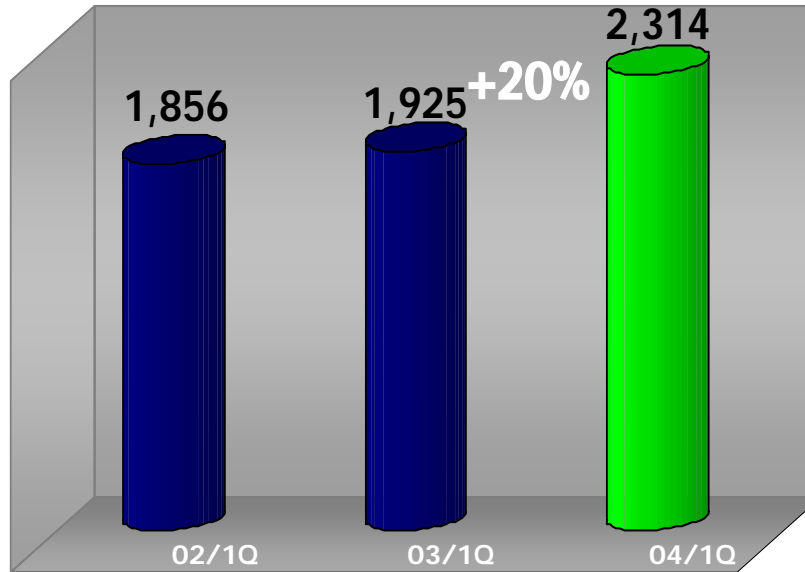
営業損益



■半導体の好調、液晶事業の改善により、増収・増益

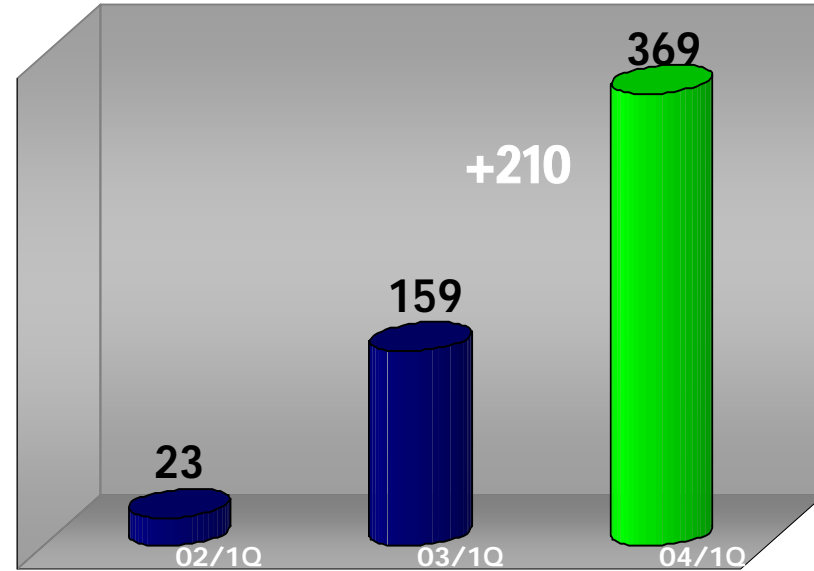
半導体

売上高



■ デジタル家電向けを中心とした
旺盛な需要により、好調に推移
し、増収

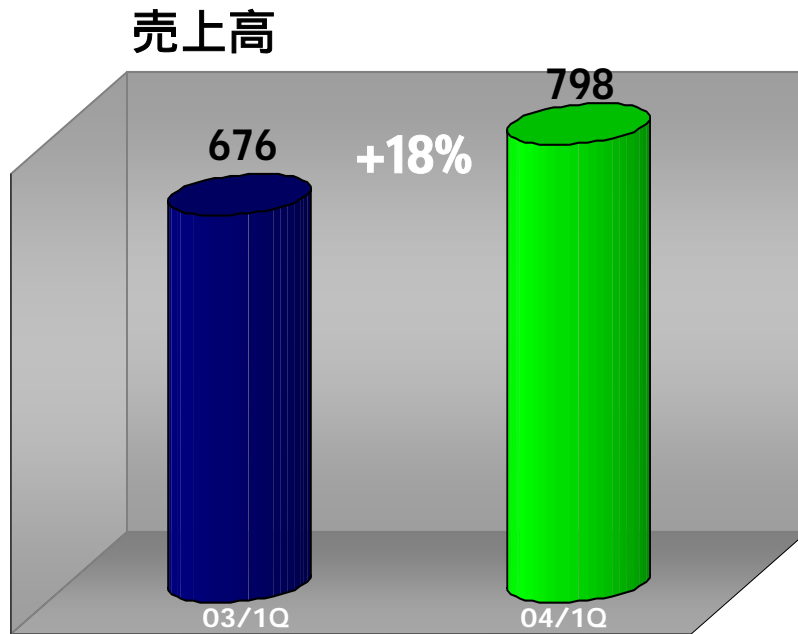
営業損益



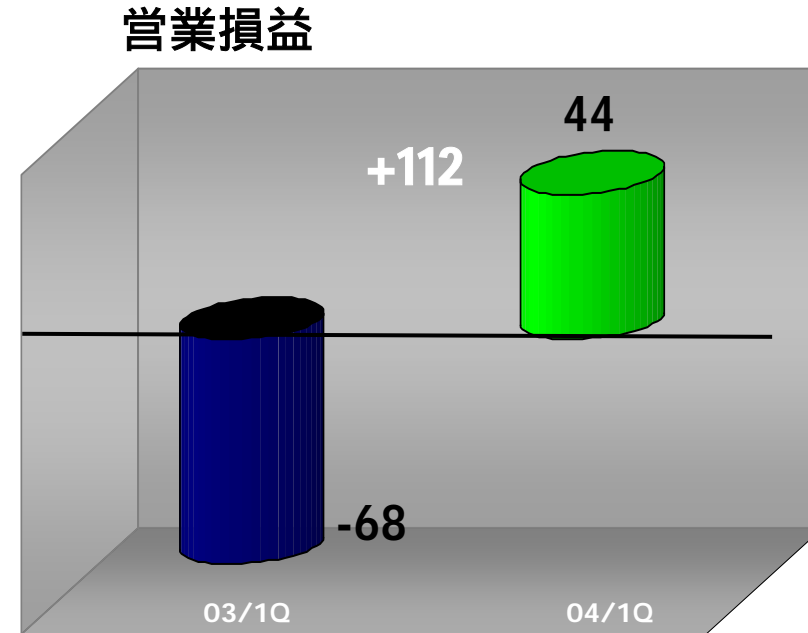
■ 増収効果による増益

半導体は電子デバイス部門内

液晶



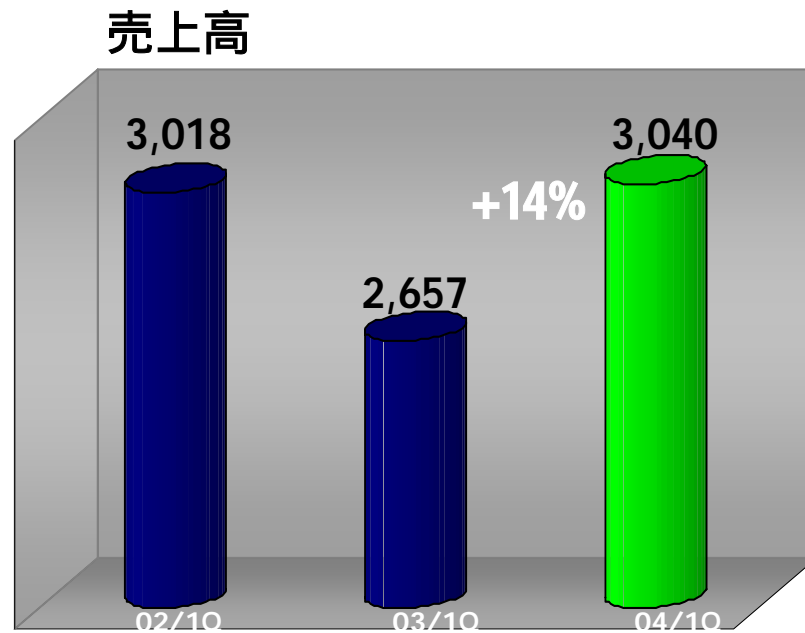
■ 小型モバイルパソコン向けを中心とした高付加価値の中小型ディスプレイが伸長し、増収



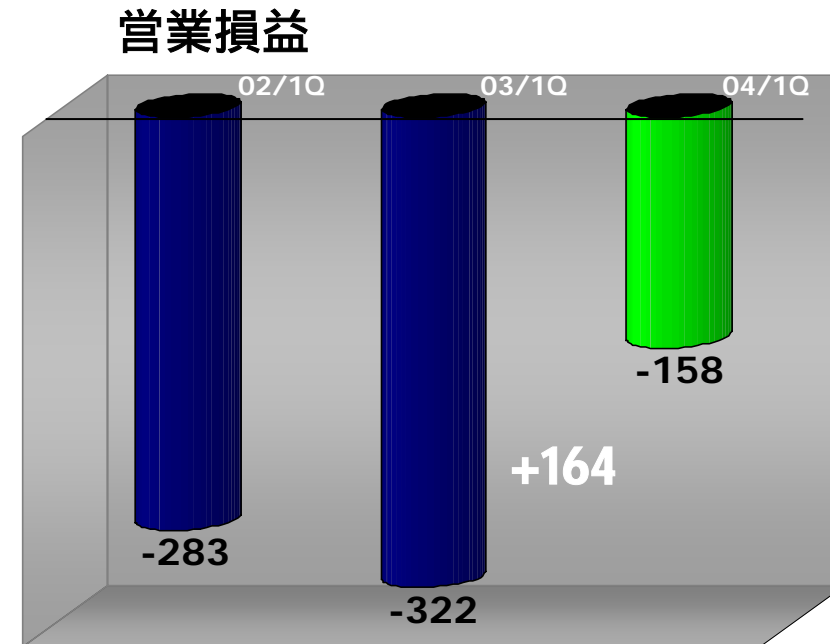
■ 高付加価値製品の売上伸長および、生産性の向上により、改善

液晶は電子デバイス部門内

社会インフラ部門



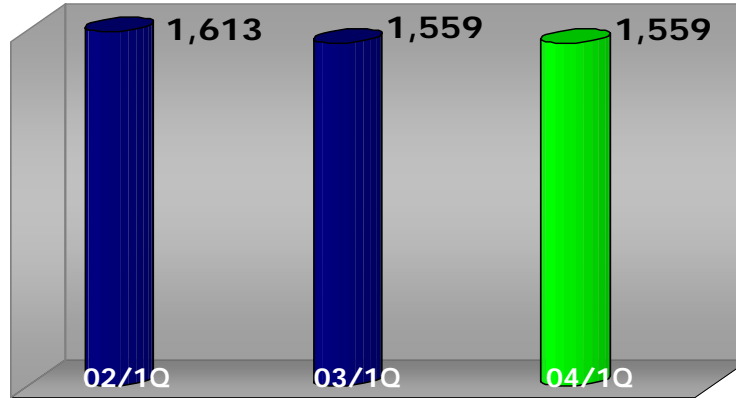
- 海外向け火力プラント物件増による増収
- 発電プラント保守物件増による増収



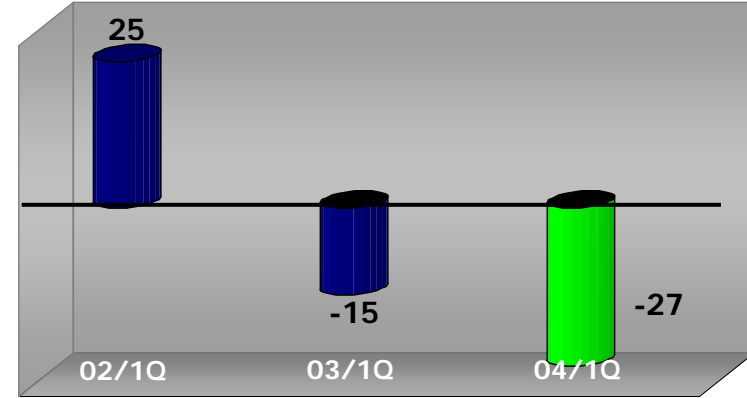
- 増収効果による改善

家庭電器部門

売上高

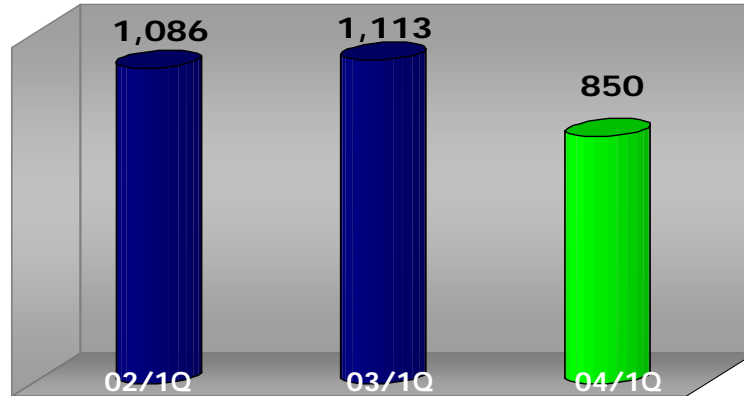


営業損益

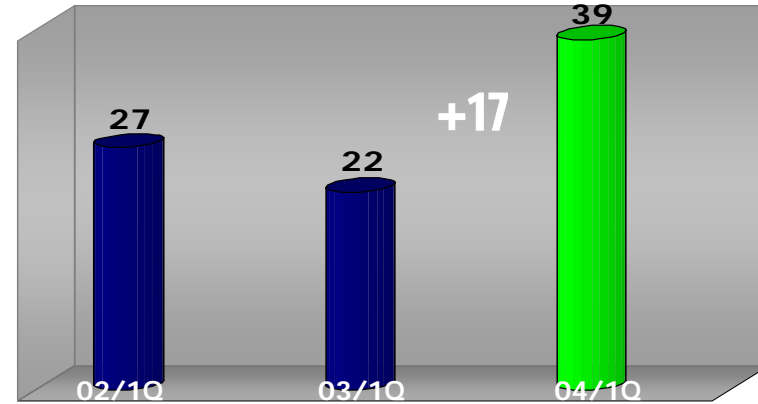


その他部門

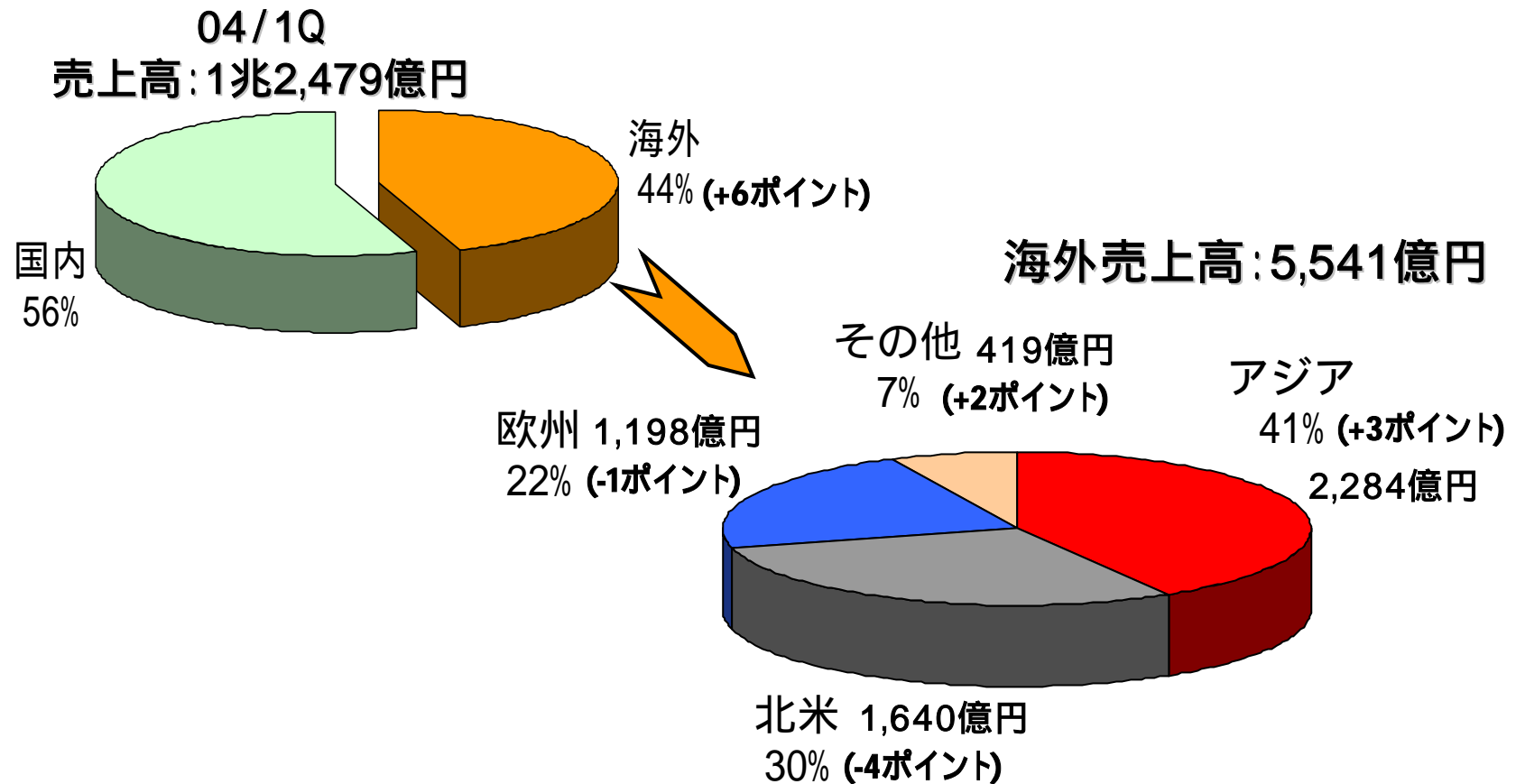
売上高



営業損益



海外売上高



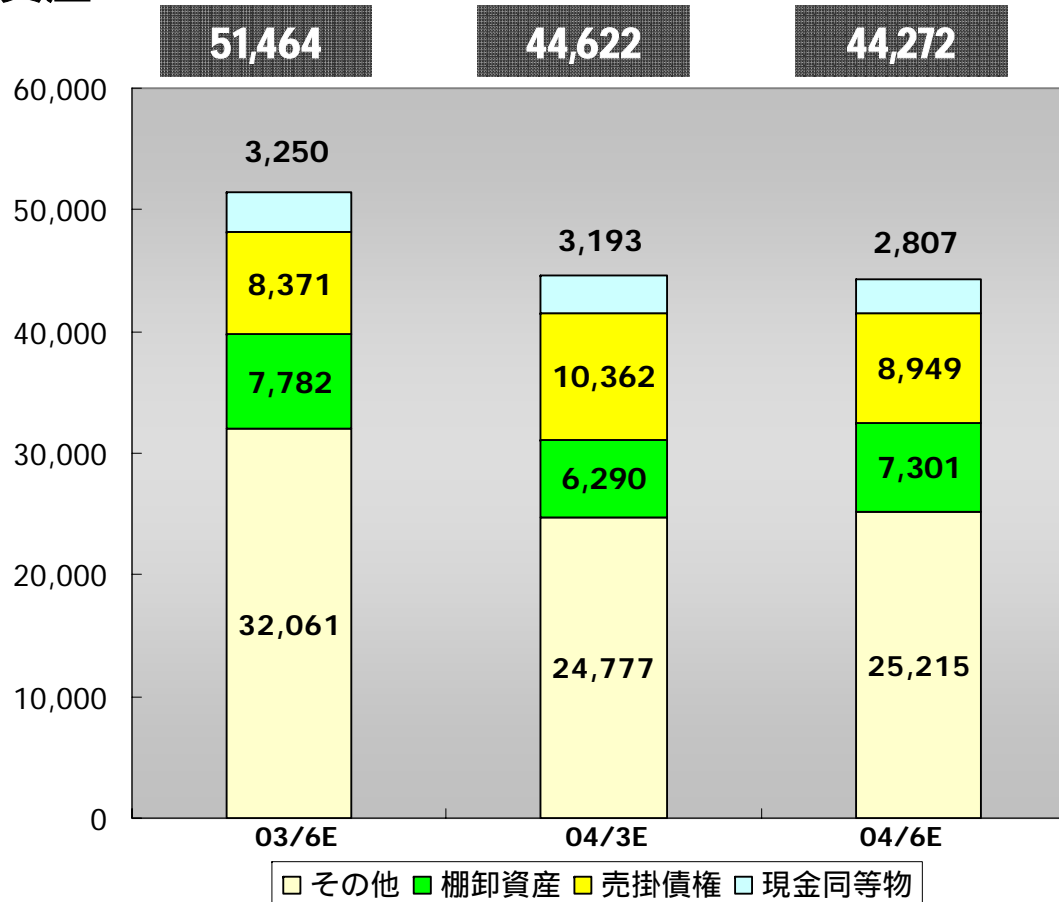
営業外損益・法人税等内訳

| 摘要 | 04/1Q (A) | 内容 | 03/1Q (B) | (A) - (B) | |
|----------|--------------|--------------------------|--------------|-----------|--|
| 営業損益 | 141 | | -413 | 554 | 売価ダウン -900 (-6.7%) 物量増及び製造改善 +900 調達C D +550 (+6.8%) |
| 営業外損益 | -138 | 事業構造改革費用-65 金融収支-22 他 | -96 | -42 | 事業構造改革費用 -33 他 |
| 税引前損益 | 3 | | -509 | 512 | 為替の影響 +22 (USD 109円 119円) |
| 法人税等 | -51 | 未実現損益 他 | 149 | -200 | 増益見合いで税負担増 |
| 少数株主損益 | -30 | TMD 他 | 12 | -42 | TMD 他 |
| 持分法による損益 | 0 | | -20 | 20 | |
| 当期純損益 | -78 | | -368 | 290 | |

* TMD : 東芝松下ディスプレイテクノロジー株式会社

貸借対照表

資産



対前年度末

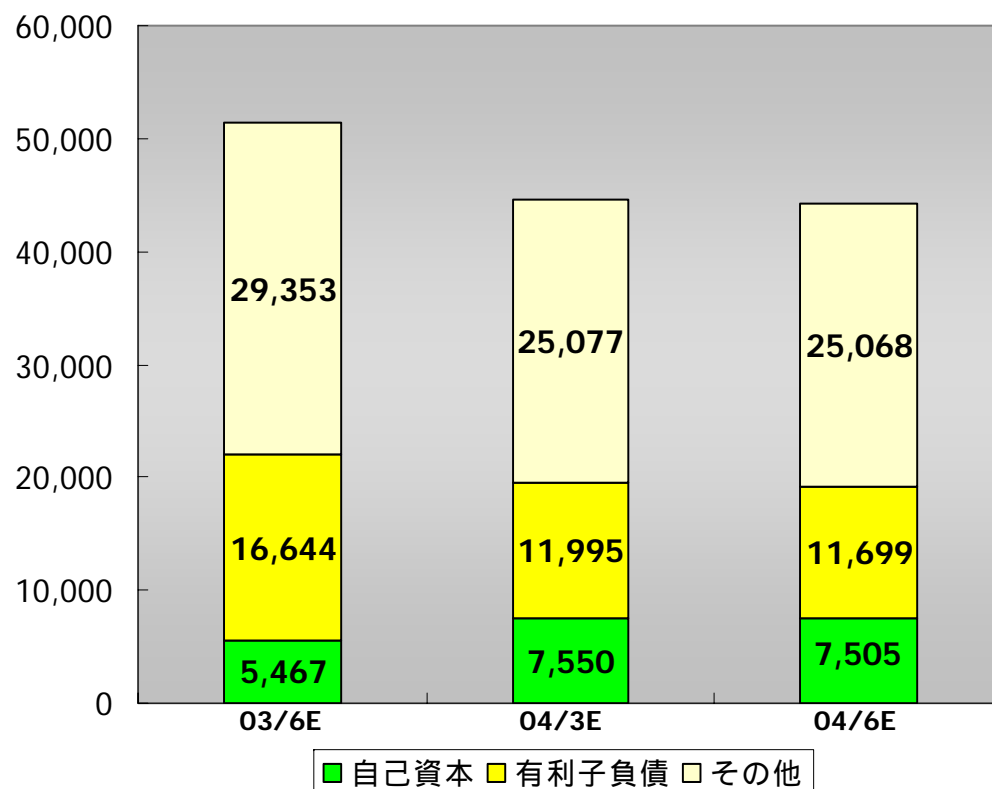
- 総資産 -350
- 売掛債権 -1,413
- 棚卸資産 +1,011

対前年同期

- 総資産 -7,192

貸借対照表

負債・資本



対前年度末

| | |
|-------|------|
| 有利子負債 | -296 |
| 自己資本 | -45 |

対前年同期

| | |
|-------|--------|
| 有利子負債 | -4,945 |
| 自己資本 | +2,038 |

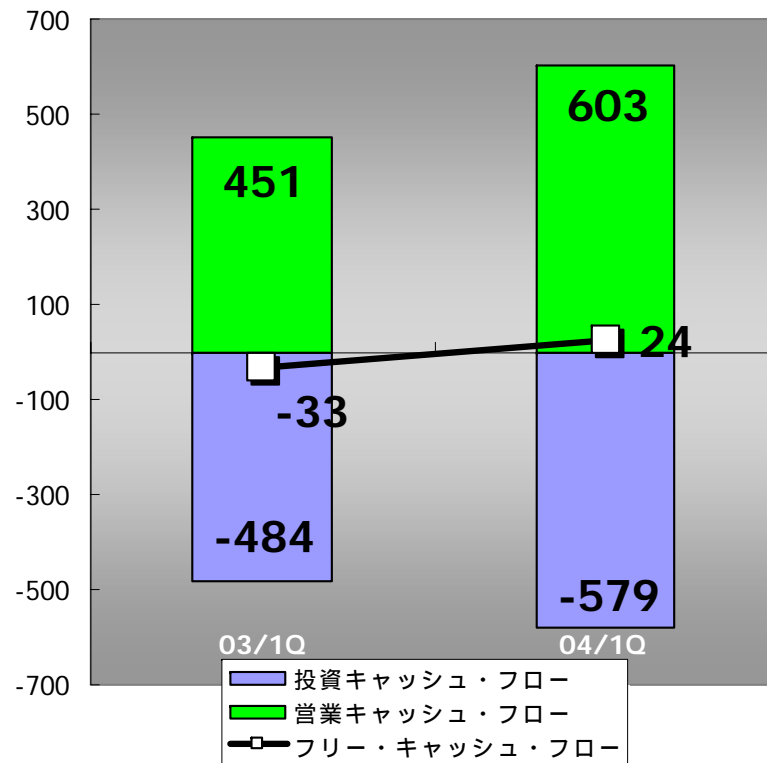
D/E レシオ

304%

159%

156%

キャッシュ・フロー



対前年同期

- 営業キャッシュ・フロー +152
- 投資キャッシュ・フロー -95
- フリー・キャッシュ・フロー +57

04年度上期見込

| | 04上(修正見込) (A) | 04上(期初見込) (B) | (A) - (B) | 03上(実績) (C) | 対前年同期 (A) - (C) |
|-------|------------------|------------------|-----------|----------------|--------------------|
| 売上高 | 28,000 | 26,600 | 1,400 | 26,083 | 1,917 |
| 営業損益 | 550 | - | - | -120 | 670 |
| 税引前損益 | 50 | -200 | 250 | -176 | 226 |
| 当期純損益 | -50 | -300 | 250 | -322 | 272 |